

「自動車リサイクルに関する自動車所有者への アンケート調査」の結果

平成21年11月27日

財団法人 自動車リサイクル促進センター

目次

《はじめに》	2
第一章 調査概要	
1. 調査内容	2
2. 期間	2
3. 対象	2
4. 抽出方法	2
5. サンプル数	2
6. 調査方法	2
7. 回答者の属性	3
第二章 調査結果	
1. 自動車リサイクルへの理解状況	4
2. 自動車購入時における関り方	6
3. 中古車売却・譲渡時における関り方	8
4. 廃車時における関り方	10
5. 自由意見	13
第三章 総括	16

《はじめに》

平成17年に本格施行された自動車リサイクル法は、我が国の状況に的確に対応して優れた実効性及び効率性を目指すために、自動車所有者、関連事業者、自動車製造業者などから構成される関係者の役割を明確化し、関係者がその役割を責任持って果たすことで使用済自動車のリサイクル・処理が実効的に行われるとする、廃棄物の削減と資源の有効利用を目指した法律です。

法施行前から、関係者との協力のもと自動車リサイクル制度の普及と理解を図るために理解活動に取り組み、大きな混乱もなく国内に保有する自動車のほとんどにリサイクル料金が預託されました。リサイクル制度開始当初における理解活動の目的は達成したといえます。

本財団は、中立・公正な立場からリサイクル制度の情報や資料等を提供するという観点で、法施行から5年を経過した現今、理解活動の今後のあり方を検討するための基礎情報を得るため、ユーザーの声に能動的に耳を傾けるための広聴活動として、自動車所有者の自動車リサイクルへの理解状況をアンケート調査しました。

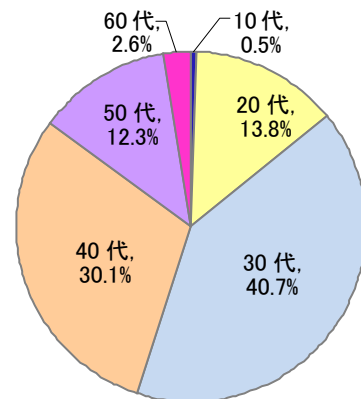
第一章 調査概要

1. 調査内容 : 自動車所有者の自動車リサイクルに対する理解状況とその関わり方の現状把握
 - ①自動車所有者が自動車リサイクルについて理解しているか。
 - ②自動車所有者が自動車リサイクルに適切に関わっているか。
2. 調査期間 : 平成21年10月16日(金) ~ 20日(火) 5日間
3. 調査対象 : 過去3ヶ月以内に自動車を購入した18歳以上の男女
4. 抽出方法 : インターネット調査会社のインターネットパネルから無作為に抽出
 - ①約170万人の会員の中から、18歳以上の男女を無作為に約40万人抽出。
 - ②スクリーニングへの回答は、約8万人
 - ③本調査回答者数は、約1,400件
 - ④データクリーニングにより、1,100件を抽出
5. サンプル数 : 1,100件
6. 調査方法 : インターネット調査方式 (無作為抽出された方々に対し、Web上で実施)

7. 回答者の属性

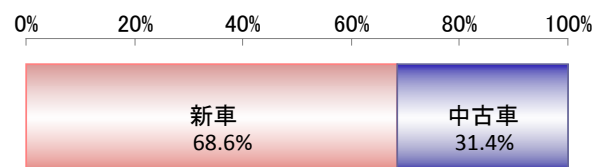
(1) 性別・年齢構成

区分 (単位)	男女計		男性 (人)	女性 (人)
	(人)	(%)		
10代	5	0.5%	2	3
20代	152	13.8%	71	81
30代	448	40.7%	248	200
40代	331	30.1%	226	105
50代	135	12.3%	100	35
60代	29	2.6%	22	7
合計	1,100	100.0%	669	431
		100.0%	60.8%	39.2%



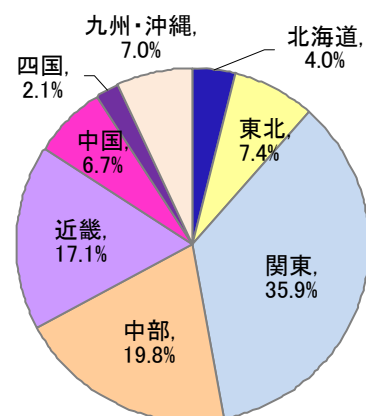
(2) 対象の自動車区分

区分 (単位)	人数 (人)	割合 (%)
新車	755	68.6%
中古車	345	31.4%
合計	1,100	100.0%



(3) 地域性

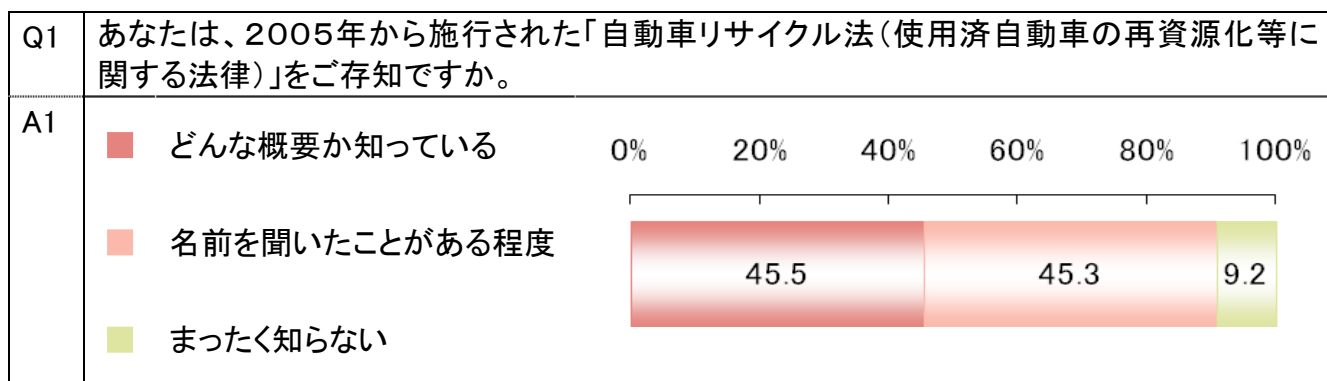
地域 (単位)	男女計		男性 (人)	女性 (人)
	(人)	(%)		
北海道	44	4.0%	23	21
東北	81	7.4%	56	25
関東	395	35.9%	250	145
中部	218	19.8%	136	82
近畿	188	17.1%	108	80
中国	74	6.7%	44	30
四国	23	2.1%	15	8
九州・沖縄	77	7.0%	37	40
合計	1,100	100.0%	669	431
		100.0%	60.8%	39.2%



第二章 調査結果

1. 自動車リサイクルへの理解状況

(1) 認知度



		人数	どんな仕組みか概要を知っている	名前を聞いたことがある程度	まったく知らない
全体		1,100	45.5%	45.3%	9.2%
性別	男性	669	54.6%	39.8%	5.7%
	女性	431	31.6%	53.8%	14.6%
年代別	20代以下	157	28.0%	58.0%	14.0%
	30代	448	45.5%	43.3%	11.2%
	40代	331	50.8%	43.2%	6.0%
	50代	135	51.9%	43.0%	5.2%
	60代	29	51.7%	41.4%	6.9%
新/中古車別	新車	755	48.5%	42.8%	8.7%
	中古車	345	39.1%	50.7%	10.1%

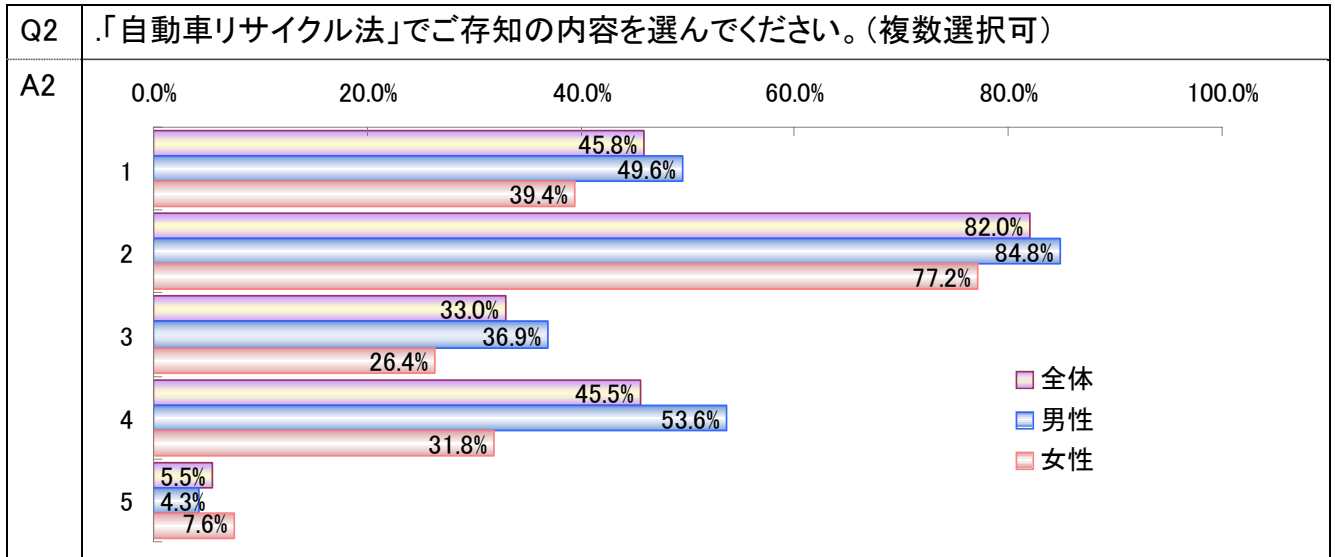
※小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合もある

調査対象者全体の45.5%が自動車リサイクル法について「どんな仕組みか知っている」と回答し、45.3%が「名前は聞いたことがある程度」と回答しており、全体の9割強が自動車リサイクル法を認識し、「まったく知らない」という回答は1割に満たない。

男女別では男性の、年代別では40代・50代・60代の、新車・中古車別では新車購入者の認知度が、比較的高い傾向にある。

(2)理解内容

Q1で「どんな仕組みか概要を知っている」、「名前は聞いたことがある程度」を選択した 999人に次の5項目の中から知っている内容を選択してもらった。



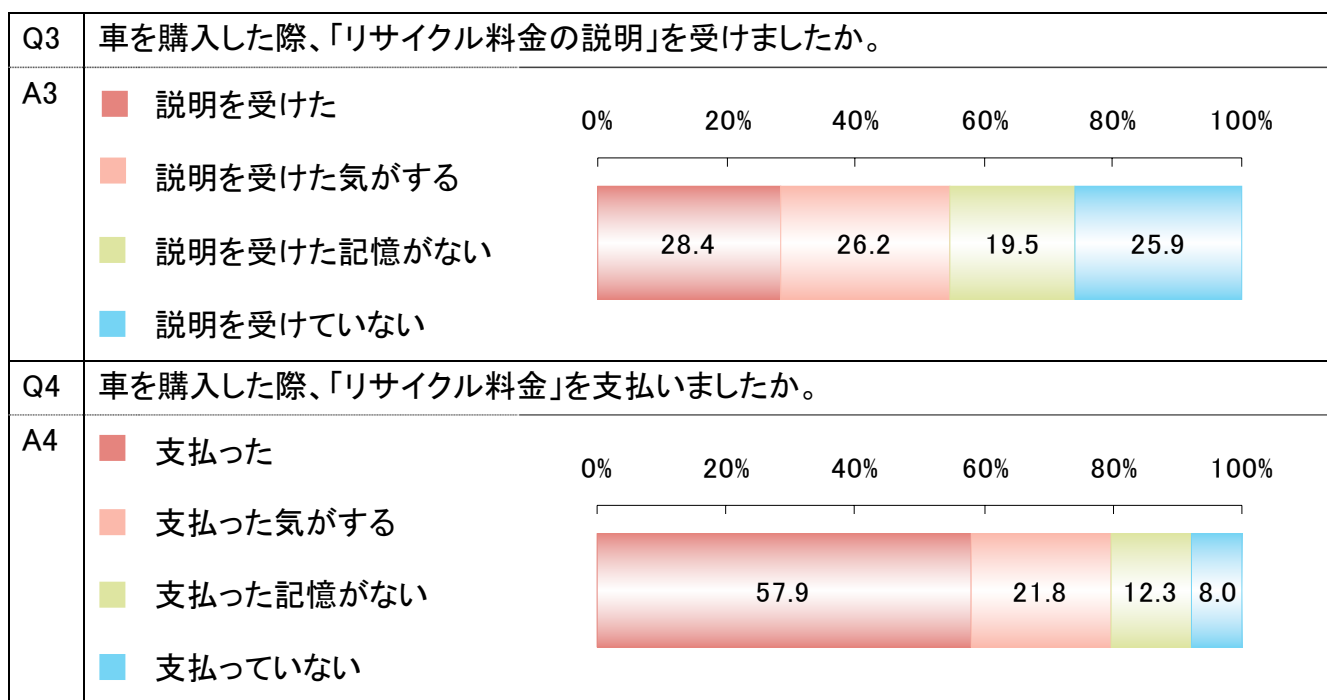
#	選択項目	男女計		男性		女性	
		人数	%	人数	%	人数	%
1	ゴミを減らし、資源を無駄づかいしない環境に優しい社会を作るための法律	458	45.8%	313	49.6%	145	39.4%
2	新車の購入時に購入者がリサイクル料金を支払う	819	82.0%	535	84.8%	284	77.2%
3	中古車を売却するときは、相手方から支払い済みのリサイクル料金相当額を受け取る	330	33.0%	233	36.9%	97	26.4%
4	リサイクル料金はフロンやエアバッグ、廃車くずの再資源化・処理に使われる	455	45.5%	338	53.6%	117	31.8%
5	上記内容で知っていることはない	55	5.5%	27	4.3%	28	7.6%
合計		999	100.0%	631	100%	368	100%

※小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合もある

新車購入時にリサイクル料金を支払うことについて、8割強が認識している。
 制度の目的やリサイクル料金の使われ方については、5割弱が認識している。
 中古車転売時におけるリサイクル料金の受け渡しについては、3割強が認識している。

2. 自動車購入時における関わり方

(1) 自動車購入時における「リサイクル料金の説明」と「リサイクル料金の支払い」の認識状況



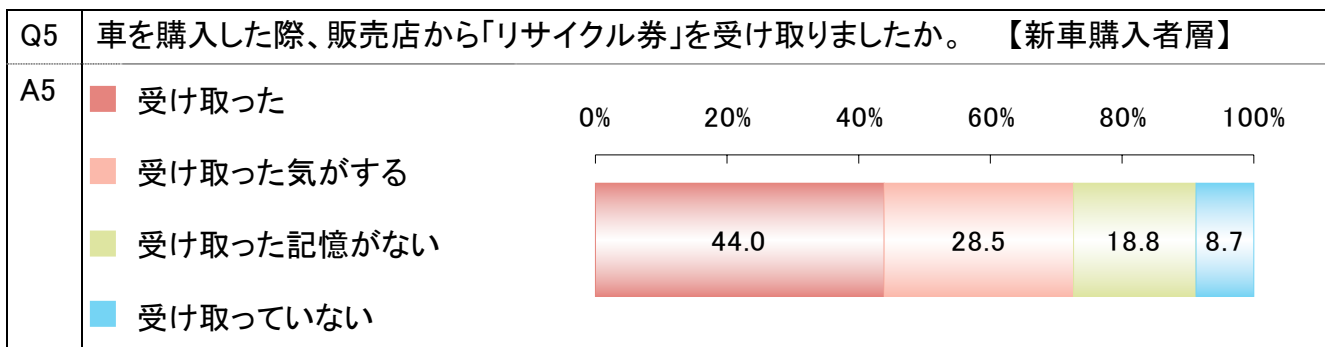
		人数	説明を受けた	説明を受けた気がする	説明を受けた記憶がない	説明を受けていない	支払った	支払った気がする	支払った記憶がない	支払っていない
全体		1,100	28.4%	26.2%	19.5%	25.9%	57.9%	21.8%	12.3%	8.0%
性別	男性	669	33.1%	24.7%	17.5%	24.7%	65.6%	18.8%	9.0%	6.6%
	女性	431	21.0%	28.5%	22.7%	27.8%	45.9%	26.5%	17.4%	10.2%
新/中古車別	新車	755	32.6%	28.2%	18.4%	20.8%	66.0%	21.5%	9.7%	2.9%
	中古車	345	19.1%	21.7%	22.0%	37.1%	40.3%	22.6%	18.0%	19.1%

		人数	支払った	支払った気がする	支払った記憶がない	支払っていない
販売店からの料金説明	説明を受けた	312	88.1%	6.7%	1.9%	3.2%
	説明を受けた気がする	288	52.4%	36.8%	7.6%	3.1%
	説明を受けた記憶がない	215	38.1%	30.2%	28.8%	2.8%
	説明をうけていない	285	45.3%	16.8%	15.8%	22.1%

※小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合もある

全体の5割強が自動車購入時にリサイクル料金の「説明を受けた」「説明を受けた気がする」と回答し、4割強が「説明を受けた記憶がない」「説明を受けていない」と回答している。
 全体の8割弱が自動車購入時にリサイクル料金を「支払った」「支払った気がする」と回答し、2割強が「支払った記憶がない」「支払っていない」と回答している。
 新車・中古車別では新車購入時に販売店から説明を受けたとする割合が、比較的高い傾向にある。

(2)リサイクル券の受取状況



		人数	受け取った	受け取った気がする	受け取った記憶がない	受け取っていない
全体		755	44.0%	28.5%	18.8%	8.7%
性別	男性	466	49.6%	28.8%	15.2%	6.4%
	女性	289	34.9%	28.0%	24.6%	12.5%

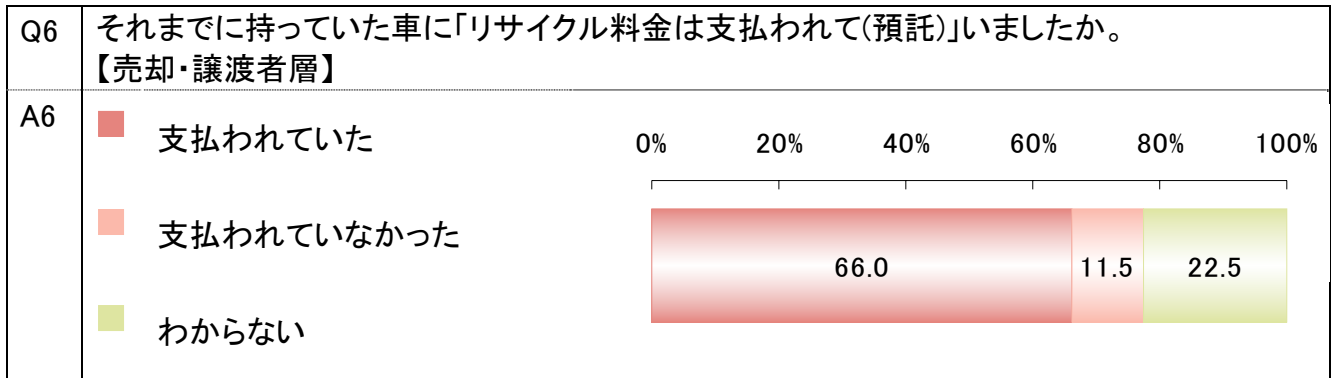
※小数点第2位を四捨五入しているため、合計が 100%とならない場合もある

新車購入者に「リサイクル券の受け取り」について確認したところ、全体の44.0%が「受け取った」と回答し、28.5%が「受け取った気がする」と回答しており、7割強がリサイクル券の受取りを認識している。一方、「受け取った記憶がない」「受け取っていない」と回答した3割弱は認識していない。

3. 中古車売却・譲渡時における関わり方

回答者 1, 100人のうち、自動車購入以前にほかの自動車を保有していたが、その自動車（元保有車）を売却・譲渡した方 503人に以下の調査を行った。

(1) 元保有していた車への預託の有無に係る認識状況

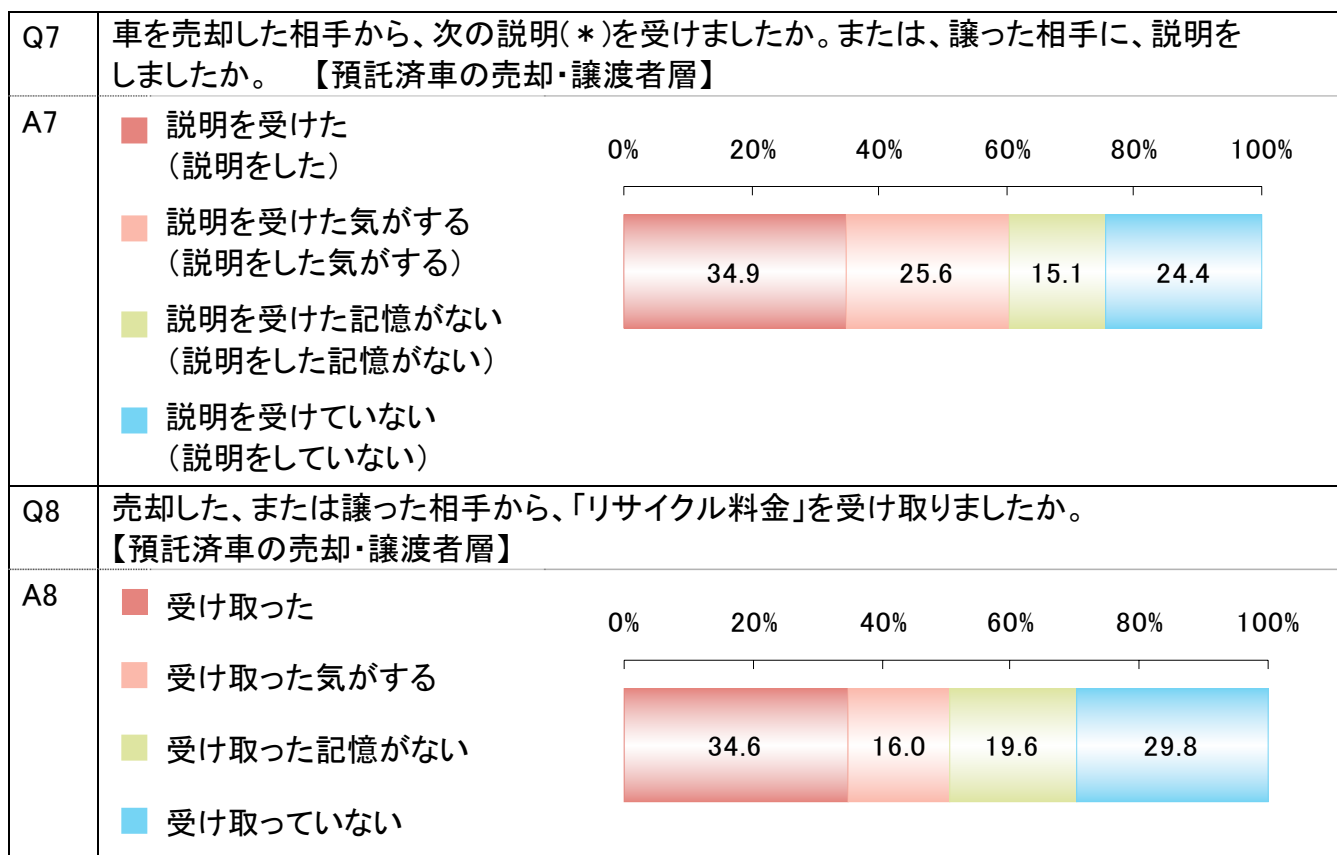


		人数	支払われていた	支払われていなかった	わからない
全体		503	66.0%	11.5%	22.5%
性別	男性	303	71.3%	14.5%	14.2%
	女性	200	58.0%	7.0%	35.0%

※小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合もある

元保有車への預託状況については、全体の66.0%が「支払われていた」と回答し、11.5%が「支払われていなかった」と回答しており、8割弱が預託状況を認識している。一方、「わからない」と回答した2割強は認識していないが、男女別では男性の認識が高い傾向にある。

(2) 中古車売却・譲渡時におけるリサイクル料金の受渡しの説明とリサイクル料金の受取り状況



*リサイクル料金が支払われている車を売却したとき、その相手から、車両価値金額に加え、リサイクル料金を受取る必要があること。

		人数	説明を受けた(した)	説明を受けた(説明をした)気がする	説明を受けた(説明をした)記憶がない	説明を受けていない(していない)	受取った	受取った気がする	受取った記憶がない	受取っていない
全体		332	34.9%	25.6%	15.1%	24.4%	34.6%	16.0%	19.6%	29.8%
性別	男性	216	36.6%	23.6%	13.4%	26.4%	36.1%	13.9%	18.1%	31.9%
	女性	116	31.9%	29.3%	18.1%	20.7%	31.9%	19.8%	22.4%	25.9%

※小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合もある

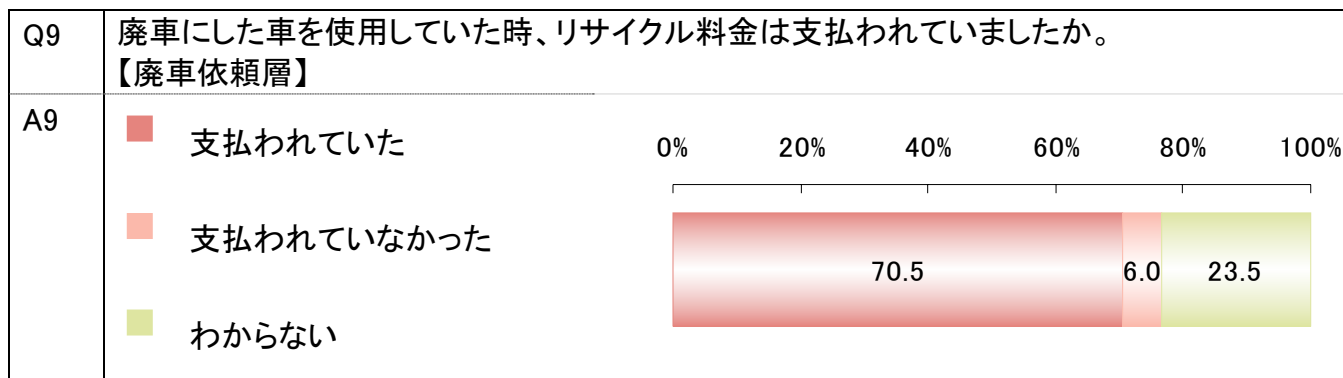
元保有していた預託済車を売却・譲渡する際のリサイクル料金の受渡しに係る説明については、34.9%が「説明を受けた(説明をした)」と回答し、25.6%が「説明を受けた気がする(説明をした気がする)」と回答しており、6割強が説明を受けたことを認識している。一方、15.1%が「説明を受けた記憶がない(説明をした記憶がない)」と回答し、24.4%が「説明を受けていない(説明をしていない)」が回答しており、4割弱は説明を受けたことを認識していない。

リサイクル料金の受取りについては、34.6%が「受け取った」と回答し、16.0%が「受け取った気がする」と回答しており、5割強がリサイクル料金の受取りを認識している。一方、「受け取った記憶がない」「受け取っていない」と回答した5割弱は料金の受取りを認識していない。

4. 廃車時における関わり方

回答者 1,100人のうち、自動車購入以前にほかの自動車を保有していたが、その自動車(元保有車)を廃車した方 217人に以下の調査を行った。

(1)元保有車への預託の有無に係る認識状況

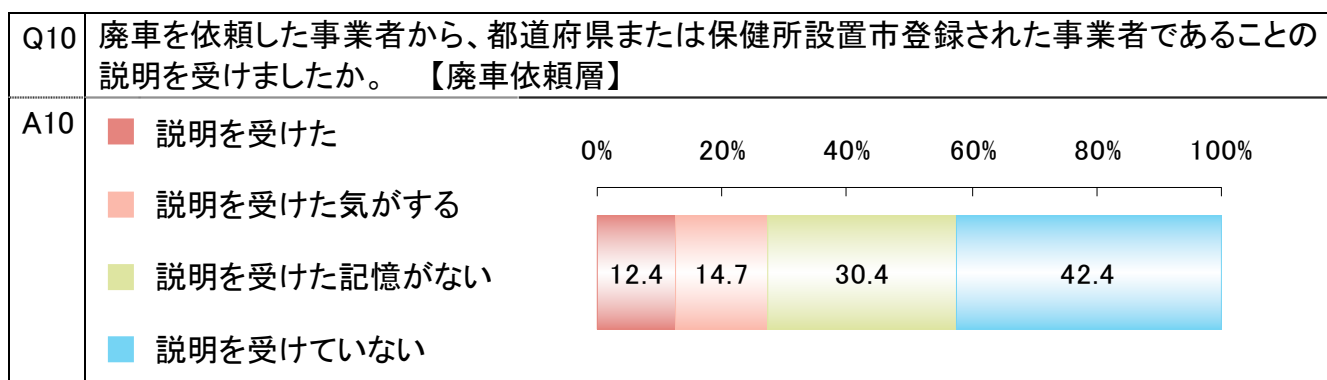


		人数	支払われていた	支払われていなかった	わからない
全体		217	70.5%	6.0%	23.5%
性別	男性	142	82.4%	4.9%	12.7%
	女性	75	48.0%	8.0%	44.0%

※小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合もある

元保有車への預託状況については、70.5%が「支払われていた」と回答し、6.0%が「支払われていなかった」と回答しており、8割弱が預託状況を認識している。一方、「わからない」と回答した2割強は認識していないが、男女別では男性の認識が高い傾向にある。

(2) 廃車を引き渡した事業者に係る認識状況

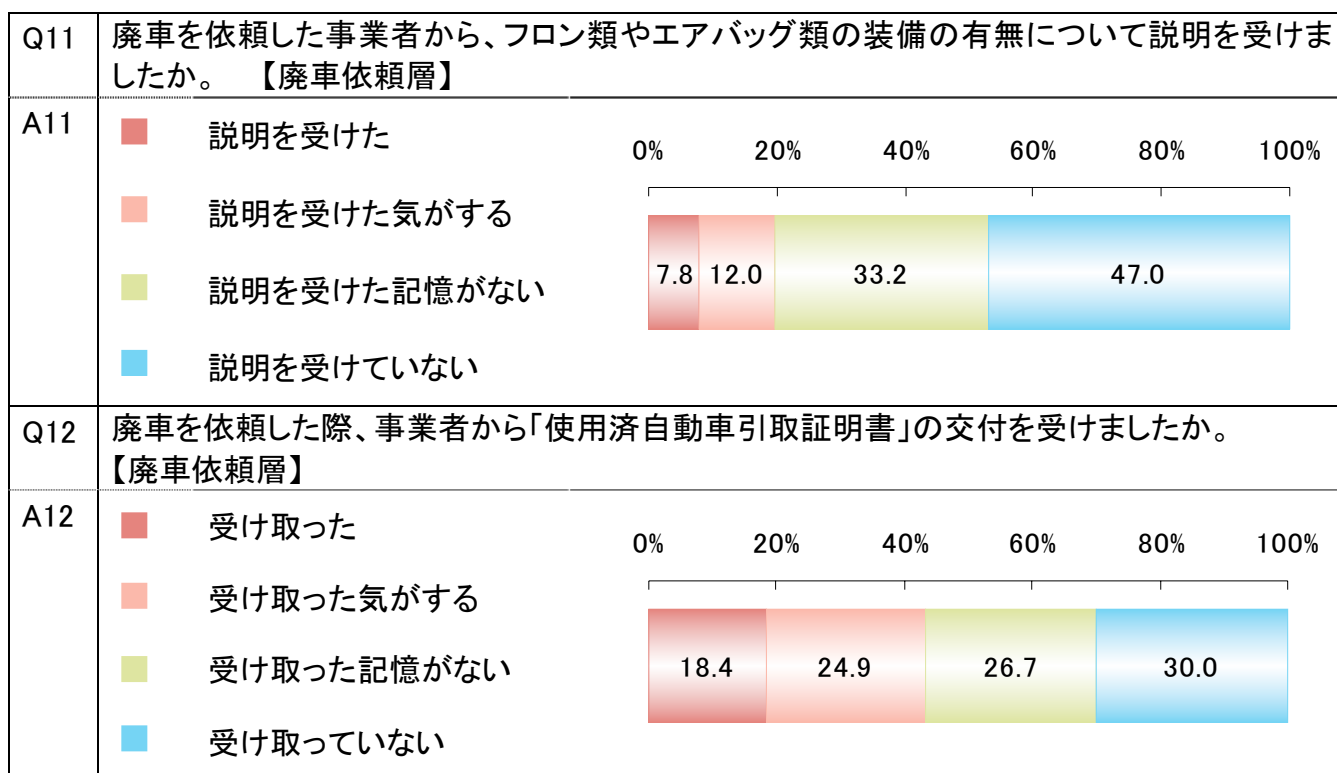


		人数	説明を受けた	説明を受けた気がする	説明を受けた記憶がない	説明を受けていない
全体		217	12.4%	14.7%	30.4%	42.4%
性別	男性	142	14.8%	15.5%	26.8%	43.0%
	女性	75	8.0%	13.3%	37.3%	41.3%

※小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合もある

自動車リサイクル法の説明義務ではないが、廃車を引き渡した事業者が登録・許可を受けた引取業者であることについて、42.4%が「説明を受けていない」と回答し、30.4%が「説明を受けた記憶がない」と回答しており、7割強が廃車を引き渡した事業者が都道府県または保健所設置市に登録された引取業者であることの説明を受けたことを認識していない。一方、「説明を受けた」「説明を受けた気がする」と回答した3割弱は事業者に関して説明を受けたことを認識している。

(3) フロン類、エアバッグ類の装備状況の説明と「使用済自動車引取証明書」の交付に係る認識状況



		人数	説明を受けた	説明を受けた気がする	説明を受けた記憶がない	説明を受けていない	受け取った	受け取った気がする	受け取った記憶がない	受け取っていない
全体		217	7.8%	12.0%	33.2%	47.0%	18.4%	24.9%	26.7%	30.0%
性別	男性	142	9.2%	12.7%	32.4%	45.8%	21.8%	22.5%	26.1%	29.6%
	女性	75	5.3%	10.7%	34.7%	49.3%	12.0%	29.3%	28.0%	30.7%

※小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合もある

自動車リサイクル法の説明義務ではないが、使用済自動車を引き渡した時に引取業者からフロン類、エアバッグ類の装備の有無について47%が「説明を受けていない」と回答し、33.2%が「説明を受けた記憶がない」と回答しており、8割強が説明を受けたことを認識していない。一方、「説明を受けた」「説明を受けた気がする」と回答した2割弱は説明を受けたことを認識している。自動車リサイクル法の義務となっている「使用済自動車引取証明書」の交付は、30%が「受け取っていない」と回答し、26.7%が「受け取った記憶がない」と回答しており、6割弱が受け取ったことを認識していない。一方、18.4%が「受け取った」「受け取った記憶がある」と回答した4割強が受け取ったことを認識している。

5. 自由意見等

Q13	最後に自動車リサイクルの活動について、どんなことでも構いませんのでご自由にお書きください。(フリーアンサー)
-----	--

フリーアンサー欄には574人(52. 2%)の方々からコメントを頂いた。
回答内容を要約すると次の通りである。(詳細は別紙参照)

1. 自動車リサイクルの活動について
自動車リサイクルの活動に関するコメントは合計335件あった。
自動車所有者の環境意識の高さが窺え、「環境への取り組み」や「資源の有効利用」の観点による取り組みの総論について肯定的な意見が237件あった。
しかしながら、各論について「具体的な自動車リサイクルの仕組み」や「リサイクルの実態」などについては分からないとする意見が98件あった。
2. リサイクル料金について
リサイクル料金に関するコメントは合計107件あった。
「リサイクルに費用が必要なのは理解している。リサイクル料金を有益につかってほしい」など、費用負担に理解を示す意見が30件あった。
その他、所有者負担に疑問がある旨の意見が12件、リサイクル料金の減額についての意見が13件、中古車輸出によるリサイクル料金の取り扱いについての意見が7件、料金の明示方法についての意見が4件あった。
3. 広報活動について
広報活動に関するコメントは合計111件あった。
「自動車リサイクルの仕組み」や「リサイクルの実態」等を分かりやすく情報を提供してほしいとする意見が102件あった。
4. 事業者について
事業者に関するコメントは合計28件あった。
事業者の説明が不十分とする意見や、色々な説明が多いので記憶に残らないとする意見があった。
5. 自動車製造業者について
自動車製造業者に関するコメントが16件あった。
主に、環境に配慮した自動車造りやリサイクル率についての意見があった。
6. 中古部品について
中古部品に関するコメントは合計22件あった。
主に、中古部品を手軽に使えるような仕組みづくりについての意見が17件、タイヤのリサイクルや事故部品の信頼度に関する意見が5件あった。

〈コメント例〉

#	主な意見等	件数
1	<p>■ 自動車のリサイクル活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自動車リサイクル制度は、これからも是非継続すべき。がんばってほしい。 ・ リサイクルが、企業のイメージアップだけでなく環境主体になることを願っている。 ・ 強制的にやらないとリサイクルは進まない。 ・ 使用済自動車の不法投棄防止に役立っている。 ・ どのような活動なのか良く理解していない。 ・ 自動車の普及により環境が問題になっているのでどんどん進めていければ良いと思う。 ・ これからは地球レベルのグローバルな視点で環境保護について考えていきたい。 ・ 少しでもリサイクルの効率がよくなればよい。 ・ 先進国の日本としては遅れている。 	335
2	<p>■ リサイクル料金について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リサイクル活動に多少の金額がかかるのは仕方のないこと。 ・ リサイクル料金は適当な金額だと思う。 ・ 購入者が負担することに納得している。 ・ 自動車メーカーが負担すべき。 ・ もっとリサイクル料金を増額するべき。必要な費用は確実に収集できるところから集めるべき。 ・ リサイクル料金が適切に使われることを望む。 ・ リサイクルにかかる費用は、すべて業者任せにしている。 ・ 海外へ中古車を流したりすると、お金はどうなるのか。 ・ シュレッダーダスト料金が、なんであんなに高いのか、謎。 	107
3	<p>■ 広報活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どのようにリサイクル・処理をしているのかわからない(全体の流れがわからない) ・ 本当に何処までリサイクルされているのか少々疑問でもある。(情報が不足している) ・ 良い活動をしているのだから、もっと広報活動をしてほしい。 ・ 費用をかけない範囲で周知を進めてほしい。 ・ もう少しわかりやすくアナウンスして欲しい。 ・ 一般ユーザーに何かできることがあるなら公にして公開して欲しい。もっと情報が欲しい。 ・ リサイクルで払ったお金が財団法人のお偉い方の高給になっていないか心配。 ・ 財団法人が、公務員や官僚の天下り先だと誤解されないように、広報活動をした方がよい。 	111

4	<p>■事業者について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自動車を購入した販売店や引取業者から詳細な説明がなかった。(または不十分である) ・ 分かりやすく説明してほしい。 ・ 車購入では、廃車費用を含め商談するケースが多く、必要な説明がされていないのが現状。 ・ 色んな説明が多いので、あまり記憶に残らない。 	28
5	<p>■自動車メーカーについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自動車メーカーには、環境に配慮した車造りをしてほしい。 ・ 車の細部にわたるリサイクル部分をわかりやすい図なり表にして欲しい。 ・ 一部でなく、100%リサイクルしてほしい。 	16
6	<p>■中古部品の取り扱いについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中古部品を使うなどして手軽に修理できるシステムがあるとよい。 ・ リサイクル部品について、事故に繋がる可能性があるので十分な配慮が必要。 ・ タイヤのリサイクルを考えてほしい。(中古部品として活用したい) ・ 自動車にはいろんな部品があるので、利用できるものはリサイクルし、有効活用してほしい。 	22
7	<p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ゴミ」関連の問題は末端の消費レベルをいじるだけでは解決しない。 ・ 自動車だけでなく、建設機械等についてもリサイクル活動を推進した方が良いと思う。 ・ ハイブリッド車のバッテリーのリサイクルはどのように行われているのか気になる。 ・ 管理する省庁が異なるので仕方がないと思うが、税金等を納付している者からみれば、リサイクル券なども車検証に記載すればなくすこともなくなると思う。 ・ 国にはもっと環境に取り組んでほしい。 ・ リサイクルも大事だが、その前に長く使うほうが大事。安易に、エコカーへの買い替えを優遇すべきでない。(長く使っている車への減税等) ・ 長く乗っていると、税金が高くなることが不思議。 ・ 廃棄業者など一部に不正がないかも強く規制してほしい。 ・ シュレッダーダストを出すこと自体がエコではない気がする。 ・ リサイクルが、企業のイメージアップだけでなく、環境主体になることを願っている。 ・ このアンケートで知った自動車リサイクルシステムのホームページから、自分の廃車した車が、ちゃんとリサイクルが完了したことを検索できた。 	51

※複数の同等コメントをピックアップした。

第三章 総括

本報告書冒頭の《はじめに》もありますように、理解活動の今後のあり方を検討するための基礎情報を得るために、自動車所有者の自動車リサイクルに対する理解状況をアンケート調査しました。

調査の結果、全体の9割強の方が自動車リサイクル法を認識し、8割弱の方が新車・中古車購入時のリサイクル料金の支払いを認識し、法の存在やリサイクル料金の支払いについては高く認識していました。しかし、中古車売却時や廃車時における自動車リサイクルの基本内容についての認識は低く、特に中古車売却時におけるリサイクル料金の受渡しや引取業者による必要事項については「説明を受けていない」旨の回答が多くありました。

また、自動車所有者には自動車リサイクルシステムを通じて保有している自動車のリサイクル料金預託状況や使用済自動車として廃車依頼後の処理状況の把握が求められています。しかし、自身が保有する自動車のリサイクル料金預託状況が「わからない」や「未預託」と回答、使用済自動車として廃車依頼の際に受け取る使用済自動車引取証明書については「受け取っていない」との回答が多くありました。

自動車所有者と接点ある関連事業者は自動車所有者に対して、自動車リサイクルの基本的な内容説明を一層わかりやすく行う必要があります。一方、自動車所有者においても自動車リサイクルシステムを通じてリサイクル料金の預託状況や自ら引き渡した使用済自動車の処理状況を確認する等、自動車リサイクルに適切に関与することが求められています。関連事業者と自動車所有者の双方が基本的なことを行うことで、自動車リサイクル制度の理解が一層深まることと考えられます。

つぎに、アンケート最後で求めた自由意見からは、「自動車リサイクルの仕組み」や「具体的なリサイクル結果」などの情報を積極的に望む声が多くありました。しかし、「関心がない」、「説明事項が多く覚えていられない」などの意見もありました。

このことから、自動車所有者が自動車リサイクルにおける役割を責任をもって果たせるように、本財団が自動車所有者に提供している自動車リサイクルの仕組みや具体的なリサイクル結果などの情報を更に解りやすく提供する課題が現出することになりました。

本調査結果により、本財団は中立・公正な立場から、自動車リサイクルにおける自動車所有者のニーズに応え、情報や資料等を提供するとした観点のもと、自動車所有者に対しては、次の2つの方向性で今後の理解活動の計画を立てることとします。

1. 自動車所有者に、わかりやすく自動車リサイクルの仕組みを伝える活動
2. 自動車所有者に、わかりやすく自動車リサイクルの具体的な取組みとその意義を伝える活動

最後になりましたが、この度のアンケート調査へのご回答者はじめ、ご支援・ご協力いただいた方々に厚く御礼申し上げます。

以上